

には、リンクがあります。は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

外部評価の結果

事業所名 グループホーム **ねむの樹**

日付 平成17年3月18日

評価機関名 有限会社
アウルメディカルサービス

評価調査員 薬剤師・介護支援専門員

痴呆介護経験8年、障害者、老人介護支援

自主評価結果を見る (まだリンク先はありません)

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

講評 全体を通して(特に良いと思われる点など)
居間には平行棒が置かれ、その前には手作りの日本地図が貼られている。運動するたびに、地図上のポイントを進み、楽しみながら継続して運動出来るように工夫されている。
また、レクレーションとして、カレンダーの塗り絵や折り紙なども日常的に行われている。このような事は、機能維持の面での効果はもたらしているが、塗り絵は健康のパロメーターとして意外な効用も発揮している。
その日の体調、気分によって色調が違っている。体調が悪いときは色彩が暗く、色の種類も少ない。反対に元気なときは明るい色を沢山使用しているそうである。壁には沢山の作品が飾られている。

8畳ほどもある畳のコーナーでは入居者がコタツに入って塗り絵をしている。職員は傍に座り、見守り、寄り添っている。
落ち着いた暮らし振りが感じられる。

庭にある畑では、入居者と職員と一緒に野菜を作っている。
作業道具の収納や、ひと休みするための長椅子などは職員の要望に応じて事業主が手作りしたものである。職員、入居者の要望を受け止め、積極的に支援している。

改善の余地があると思われる点
タバコが自由に吸えるのは、入居者のストレスをためないためには良い事であるが、喫煙場所を限定し、居室での喫煙は控えられたい。また、台所からは構造上入居者の姿が見えない。職員は背を向けて作業をすることが多く見守りが不十分になり易いので注意されたい。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目 グループホームとしてめざしているものは何か 「安心、安全、生き甲斐」を理念に、出来るだけ自分で出来るようになって欲しいと願っている。 車椅子の入居者には、自力歩行出来ることを目指しており、あまり手を出さず見守りを心がけている。 元気で居てもらうために病院との連絡を密にし、体調の変化を見逃さないようにしている。薬も出来るだけ少なくしてもらっている			

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目 入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か 居間にある畳の間や、ゆったりとしたソファで職員は入居者とよく会話をし、話を聞いている。入居者と手をつないで傍に寄り添い、安心感を与えている。 入居者には、自由にやりたいことをしてもらっている。			

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目 一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か 入居者が居室に入ったときは、見回り程度にとどめプライバシーには配慮している。 畑仕事を楽しみの入居者には、苗と一緒に買いに行き作り方も教わりながら一緒に作業している。			

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目 サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か、 勉強会や研修会には積極的に参加し、レベルアップに努めている。 事業主を交えての話合いも自然に行われ、意思の疎通が図られている。外出や外食などの行事もいろいろ企画されている。 病院との連携も重視され、医師との連絡も密に行われている。			